

採 択 理 由

【国 語】 発行者・・光村図書出版（株）

- 「国語の学びを見わたそう」で、学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり、「問いを持とう」で自ら問いを持ち学べるようにする工夫など、児童が主体的に学習に取り組み、学習に興味を持てるように配慮されていること。
- 1年生の段階から、体験したことや感じたことを言語化して他者に伝える能力を養ったり、言葉の魅力を伝える工夫をするなど、系統的・発展的に学習が進められる内容の構成・排列となるよう、学年に応じた学習活動が適切に位置付けられていること。
- 多くの学年で北海道との関連を取り上げている題材があることや、季節の移り変わりや自然の美しさに触れたり、俳句、短歌、古典の世界等の伝統的な言語文化に関する教材を多く取り上げたりしていること。
- 語彙や思考を広げる手立てとして、巻末付録に「伝え合うための言葉」「言葉の宝箱」を提示するとともに、国語の学習でよく使われる言葉を「学習に用いる言葉」として整理されていること。
- 本のポップや帯を作る活動等、伝える読書活動も意識した活動を取り入れ、児童が読書に対する思いを高め、思考力や想像力を養うことができるような工夫がされていること。
- 相手意識や目的意識が明確になるような活動がバランスよく位置付けられていたり、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載するなど、児童が意欲的に学ぶことができるように二次元コードを配置し、発展的な学びにつなげる工夫がされていること。
- 3年生以上で戦争を題材とした作品が取り上げられており、平和教育に力を入れていることとともに、中学校との連続・継続した学びを意識していること。

採 択 理 由

【書 写】 発行者・・光村図書出版（株）

- 各教材が課題解決型学習を想定した楽しく親しみやすい教材で構成されており、児童が考えを広げたり深めたりする活動を取り入れ、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮していることや、SDGsや防災と関連した学習も用意されていること。
- 「私の文字」「私の文字を振り返る」において、個人の特性を表す手書き文字の価値を認める内容になっていることや、情報を効果的に伝える文字のデザイン・書き方の工夫について取り上げられており、文字の果たす役割についても深く学べるようになっていること。
- 「全国筆・紙・すずりマップ」など、伝統的な言語文化への理解を深められるよう配慮され、書写での学習を他教科に生かす教材「書写広げたい」や、日常の言葉や物語、短歌、俳句を書いて味わう「ことば」が全学年に位置付けられていることや、水書（すいしょ）用紙が用意されており、繰り返し体感ができること。
- 手紙や横書きの書き方等、日常とのつながりが実感できる教材を掲載したり、国語や他教科における関連を図った教材を掲載したりするなど、科目を超えた知識を得ることができるようになっていること。
- 北海道と関連のある内容を取り上げた資料が使われており、5年生では、アイヌの人たちの暮らしを題材にした新聞作りが掲載されていること。
- 「書写スタートブック」では、巻頭の「書写の約束」を含め、所作学習の基本となる内容をまとめて掲載している。また、正しい姿勢・筆記具の持ち方を実現する体づくりのための書写体操や、姿勢や持ち方を「唱え歌」など、児童が楽しみながら身に付くようになっていること。

採 択 理 由

【社 会】 発行者・・東京書籍(株)

- 児童が見方・考え方を働かせて学習を進められるよう「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点や方法を囲みとして設けられていること。
- 児童が主体的に学べるよう、「まなびのポイント」や「学び方コーナー」を設けたり、単元のめあてや学習問題を明示したりするとともに、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が示されていること。
- 北海道・十勝については、寒い土地のくらしにかかわる学習において、北海道の家や雪対策と雪を生かした観光、北海道の自然を生かした農業として十勝の農家について取り上げられているとともに、アイヌ文化に多くの紙面をさいており、北方領土等についても扱われていること。
- 世界の中の日本として、SDGs等、世界の課題を関連づけた記載をするなど、グローバル化する世界と日本の役割の学習において、日本と外国の人々の文化や活動の違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動が示されていること。
- 自然災害や防災については、多方面からの系統的・発展的な学びができるように工夫されていること。
- 5・6年生向けを分冊とし、児童の持ち運びや学びやすさへの配慮がなされていること。

採 択 理 由

【地 図】 発行者・・・(株)帝国書院

- 見やすく、情報量が豊富であり、地図が必要とされる理由、意義、特徴が丁寧に説明されているとともに、地図の基本や約束が掲載されているなど、児童が地図学習を進めやすい配慮がされていること。
- 方位や地図記号、土地利用等を用いて宝探しに取り組んだり、都市間の縮尺を用いて実際の距離を調べたりするなどの具体的な活動を通して、地図に親しみながら学ぶことができること。
- 資料・統計において、多様な主題図を掲載し、比較・関連させて考察したり、歴史的な経過や地形を別の地図と関連させて読み取ったりするなど、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、適切に表現することができる工夫がされている。また、二次元コードを用いた多様なコンテンツが利用できること。
- 北海道については、北方領土やアイヌ語地名、アイヌの人たちについて取り上げられるとともに、北海道南部の詳細な地図も掲載されていること。
- 学校の周りの防災マップの具体的な作り方を載せ、自らの身を守るために何ができるかを考えられるよう工夫されていること。
- コラム「世界のSDGs」など、SDGsに関する特設ページを設け、環境問題などを扱っていることや、世界の子どもたちの生活も紹介しており、世界と自身とのつながりが感じられるような作りになっていること。

採 択 理 由

【算 数】 発行者・・・東京書籍(株)

- 単元末に「たしかめよう」を設け、学習した基礎的・基本的な概念や性質の理解・技能の定着を図るとともに、習熟に時間を要する内容、つまずきやすい分野など、スパイラルに学習することが有効な内容については、2つの単元に分けて段階的に取り扱うよう排列が工夫されていること。
- 「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたことを想起する子どもの姿を例示したり、コラム「ますりん通信」で算数の学習に関連する多方面からの話題や見方・考え方等を取り上げたりするなど、算数を嫌いにならないように児童の学習意欲を高める工夫がされていること。
- 学習したことをもとにして、問題解決や次時の学習を創造することを促したり、自分の考えを他者が理解できるように説明する能力を養ったりするなど、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習となるよう工夫されていること。
- 1年生の教科書は、ノート機能も備えた仕様で、算数の学習に向かう時間を確保することができるように工夫されており、他教科や幼児期の教育と関連付けた問題場面が提示されていたりするなど、児童が親しみや安心感をもって学習できる工夫がされていること。
- 二次元コードが多く掲載されており、自力解決や習熟のための演習、家庭学習やプログラミング学習など、1人1台端末を活用した学習活動の充実が図られていること。

採 択 理 由

【理 科】 発行者・・(株)新興出版社啓林館

- 写真が多く見やすいレイアウトの工夫がされており、「問題をつかむ」、「問題設定」、「予想」、「計画」、「観察・実験」、「結果」、「考察」、「まとめ」、「新たな疑問から問題をつかむ」というサイクルが分かりやすく示されているなど、学びのサイクルを通して学習を深めることができる構成となっていること。
- 単元末では、「たしかめよう」で基礎的・基本的な問題を掲載し、知識・技能の習得を図るとともに、「活用しよう」では、図や写真から情報を読み取る問題などを扱い、思考力・表現力等を高める工夫がされていること。
- SDGsに関連する題材には、関連する目標のマークを示すとともに、特設サイト「わくわくSDGs」で詳細な情報を知ることができるよう工夫されていること。
- 自然災害から身を守る防災力を高めるため、全学年の「ウィズアース～〇〇の防災～」において、持続可能な社会と関連付けた記述があること。
- 全学年に「やってみようプログラミング」を設け、中学校の学習を見据えて、プログラミング的思考を段階的に育成することができるよう工夫されていること。
- 二次元コードが数多く掲載されており、「WaCBT」(ワクビット)では学習に関連した映像から情報を読み取り、問題に答えるコンテンツを体験できるようになっているなど、1人1台端末の活用を促す工夫がされていること。
- 実験で気を付けなければならないこと(換気、やけどなど)が黄色の三角マークで分かりやすく表示されていること。

採 択 理 由

【生 活】 発行者・・・(株)新興出版社啓林館

- 単元は、単元導入「わくわく」、主な活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、主体的・対話的で深い学びにつながる充実した活動と、確かな学びが実現できるようになっていること。
- 「すたあとぶつく～がっこう だいすき いちねんせい～」では、幼児期に育まれた資質・能力を大切にしたスタートカリキュラムが充実していることや、「3年生へのステップブック」で、上位学年の学びへのつながりや見通しを持てるよう配慮していること。
- 活動の中で生まれた児童の「気付き」や「思いや願い」が次の活動につながるよう「めくり言葉」を位置付けたり、「できるかな できたかな？」コーナーを掲載したりなど、児童が学びの深まりを実感したり、次の活動への意欲を高めたりして、児童の主体性を育てるよう工夫されていること。
- 「びっくりずかん」「デジタルたんけんブック（二次元コード）」などの豊富な資料により、児童の知的好奇心や探究心をくすぐる豊富な資料が掲載され、気付きの質が高められるような工夫がされていること。
- 「冬の遊び」では、北海道に関わりのある内容が掲載され、帯広市の「氷のお面」が掲載されていること。
- 様々な虫や花、種等を実物大の写真で掲載したり、「たねのふしぎ」では、ひとつの種から多くの種が収穫されることを伝える写真を掲載したりして、児童の心を揺さぶり、より豊かな学習活動を実現できるようになっていること。

採 択 理 由

【音 楽】 発行者・・・教育出版(株)

- 音楽のイメージに合わせた美しい写真やイラストが大きく効果的に配置されており、発達段階に即した使いやすさと、音楽に対する楽しさや親しみやすさを感じさせ、イメージを広げたり深めたりする工夫がなされていること。
- 巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しを持たせたり、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示すなど児童が主体的に学習に取り組む工夫がされていること。
- 1年生ではリズム、2年生では強弱、3年生では旋律に合わせて体を動かす学習方法が多く取り入れられ、高学年で「音楽のもと」と呼ばれる各要素を実感できるよう工夫されている。
- クラシック、雅楽、ジャズ、ポップス、民謡、ミュージカル等、多様なジャンルの音楽を扱っており、感覚に訴える表現を多用して、「心と心をつなぐ音楽」の力を考える工夫がされており、児童の学習意欲が高められるようになっていること。
- 他教科と関連させ、短時間学習の教材として扱える掲載があること。
- リコーダーの運指について、分かりやすく掲載されていること。
- 紙面上の二次元コードを通じた、音声や動画、写真、ワークシート等の良質なデジタルコンテンツの活用により、児童の学習意欲が高められること。

採 択 理 由

【図画工作】 発行者・・・日本文教出版(株)

- 教科書の使い方に関する工夫や学習の進め方が示されており、教材の導入部が設けられ、また、全ての題材及び1年の締めくくりに「振り返り」が設定され、児童が主体的に学習に取り組める配慮がされていること。
- 表現と鑑賞を関連させて学びを深められるよう「表現のヒント」「鑑賞のヒント」が示されるなどの工夫がなされていること。
- 言語活動の充実として、発想や構想、鑑賞等、様々な場面で児童がコミュニケーションをとりながら造形活動を行う様子を紹介するなど、伝え合う活動・表現する活動が充実されていること。
- 児童の表情が分かる写真が掲載されたり、また、名作と児童の作品を同一に並べたりするなど、芸術を身近に体感できる配慮がされていること。
- アイヌの人たちに関する地元教材が掲載されているなど、親近感が持てる教材構成になっていること。
- 用具の基本的な扱い方と安全性への配慮や、作品の鑑賞、図工体操等に二次元コードを活用して動画で確認できるなど、1人1台端末を効果的に活用することができるように工夫されていること。

採 択 理 由

【家 庭】 発 行 者 ・ ・ 開 隆 堂 出 版 (株)

- 巻頭ガイダンスでは、誕生から中学生までの時間軸の広がり、家庭・地域・社会へと広がる空間軸を表して2年間の学習の見通しを持ち、2年間のまとめとして「中学校につなげよう」が掲載されていることから、児童が家庭科を学ぶ意義を確認できるよう工夫されていること。
- 児童が主体的に学習を進めることができるように、課題解決のための3ステップ「気づく・見つめる」「わかる・できる」「生かす・深める」や生活を振り返る4つの視点が示されており、課題解決のてがかりとなる例示や写真・図表・イラスト等の記載も充実し、「使いやすさ」「分かりやすさ」「教えやすさ」の工夫が見られ、また、「豆知識」でより詳細な情報を得ることができること。
- 和食、郷土食等、伝統的な食文化や、ふろしきや風鈴等の生活文化が多数示され、北海道に関わる内容も取り上げられていること。
- 防災教育に関する特設ページを設けているほか、他教科の学習との連携や横断的な学びの工夫など、有機的につなぐための【関連リンク】や、SDGsのために自分に何ができるかを考えさせるページ等、家庭科を学んでいく上で大切な視点を意識できるように工夫されていること。
- 児童が陥りやすい消費者トラブルについて、売買契約の仕組みと法的効果として、具体的な事例や解決のヒントを示すなど、消費者教育について正しい理解を促していけるように工夫されていること。
- 二次元コードから読み取る学習コンテンツが配置されており、動画や学習コード等、学習に有用なコンテンツが充実しているほか、「見てわかる」を大切にする巻末資料には、利き手ごとや食品の実物大の写真を扱っており、児童が安心して学ぶことができる工夫がされていること。

採 択 理 由

【保 健】 発行者・・(株)Gakken

- 1項目が4ページ構成となっており、1ページ目に「学習課題」「学習の進め方(3段階)」が示されるなど、児童が見通しを持って学習ができるようになっている。また、話し合いによる学習を重視し、課題について話し合い、その内容を書き込み、発表するなど、主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫がされていること。
- 単元の最後に、学習のまとめを記入するページが設けられており、学習したことを活用することができるようになっているとともに、資料「ほけんのはこ」で学びを深める工夫がされていること。
- 思春期の心の変化については、「異性のことが気になったり(中略)する人もいる」という表現を用いるなど、性的マイノリティへの配慮がなされている。また、「性についての心の多様性」について詳しく説明されており、相談窓口も複数紹介されていること。
- 5・6年生において、心の健康に関する様々なトラブルや悩みの事例を扱い、相談窓口についても、全国や地域の窓口だけでなく、身近な専門家やスクールカウンセラー等も紹介するなどの配慮がなされていること。
- イラストや図は、男女の性、外国にルーツをもつ子どもなどの多様性を尊重し、人数や役割、配色等、固定的なイメージでの表現とならないように配慮し、作成されていること。
- 成長について悩む友人に何と声をかけるべきか考えさせたり、「喫煙や飲酒をすすめられたときの断り方」がロールプレイングの演習を通して具体的に示されるとともに、病気の予防に取り組む実践的な工夫が見られること。
- 二次元コードを掲載し、様々なデジタルコンテンツを活用できるなど、使用上の便宜が図られていること。

採 択 理 由

【英 語】 発行者・・東京書籍(株)

- 自分を表現し、相手を知り、自分や相手の暮らしや文化を知ること
に重点がおかれていることや、書き込み欄が多く、書く能力の
育成にも力を入れていること。
- 5年生では「日本とつながるわたしたち」、6年生では「世界とつ
ながるわたしたち」をテーマに、学年を通じた見通しをもち、英
語嫌いを生まないように4技能5領域（「聞くこと」「読むこと」
「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」）をバランスよく配置
する工夫がされていること。
- 多文化共生として、5・6年生で計43か国を取り上げたほか、さ
まざまな人種の児童を動画で取り上げることで、多文化共生の意
識を育成していること。
- 教科書に掲載された二次元コードを通じて閲覧できる5・6年生
合わせて650以上の教材が児童の習熟度や興味・関心に応じた個
別最適な英語の学びのサポートが充実しており、児童の学習意欲
を引き出す工夫がされていること。
- コミュニケーション・聞き取りを重視しており、対話の練習が多
く設定されているとともに、「My Picture Dictionary」では、円
滑なコミュニケーションをはかるための表現、言い回し、工夫、
気遣いなどのポイントが記載されていたり、5・6年生で学習し
た主な表現のまとめ、索引等も使いやすい仕様となっていること。
- 単語機能の充実とともに、中学校教科書との連携が図られている
こと。

採 択 理 由

【特別の教科 道徳】 発行者・・東京書籍㈱

- 1年生では、具体的な活動や、他教科等との関連を図った学習を通して、児童が道徳科の学習の楽しさと出会う「どうとくスタート」が新設され、幼児教育で育まれた道徳性を生かし、円滑な幼保小連携を図るための工夫がされていること。
- 巻頭の「どんな学びをするのかな？」では、言語活動を含めた学習の流れが分かりやすく示され、児童が主体的に「考え、議論する道徳」を実現できるようになっており、「気づく」、「考える」、「広げる・深める」といった学びの工夫がされていること。
- 「いじめ問題」については、全学年で「ユニット」として重点的に取り上げ、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材、いじめに関するコラム「つながる・広がる」を組み合わせ取り上げ、児童が多角的に考えを深め、いじめの防止の効果が高められるようになっていること。
- 自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を巻末に配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるよう工夫されていること。
- 生活科等、他教科等の学習活動や地域や家庭での活動との関連を図った教材や、コラム「つながる、広がる」を有機的に組み合わせ、情報モラル、SDGs、子どもの権利条約等、社会問題や人権・差別に関わる内容の教材化により、教育活動全体で現代的課題に向き合う構成となっていること。